

関係団体との意見交換の状況

1 実施概要

対象施設の今後の在り方を検討するに当たり、対象施設と関連のある以下の団体と意見交換を実施しました。

実施日	団体名	対象施設との関係性 (3頁の参考参照)
令和5年 7月10日	(公財) 府中市勤労者福祉振興公社	振興会館(中央文化センター5F)の1室を事務室として使用
	(特非) 府中市国際友好交流会	
	府中市自治会連合会	
	(一社) 武蔵府中法人会	
	(一社) 府中市薬剤師会	保健センターの1室を事務室として使用
令和5年 7月11日	(福) 府中市社会福祉協議会	ふれあい会館の1室を事務室として使用(ふれあい会館の指定管理者)
	府中スカウト育成協議会	振興会館(中央文化センター5F)の1室を事務室として使用
令和5年 7月18日	多摩川漁業協同組合	振興会館(中央文化センター5F)の1室を事務室として使用
	府中市交通安全協会	
	(公社) 府中市シルバー人材センター	ふれあい会館の1室を事務室として使用

2 結果概要

(1) 使用方法や頻度

- ・事務作業や備品の保管等の使用が主となっていました。
- ・一部の団体では10名以下程度の小規模な会議、打合せを実施していました。
- ・事務室に常勤する人数をみると、1、2名の団体が複数ある一方で、30名程度の団体もいました。
- ・基本的には月～金の使用が多く、休日対応が必要な団体は週末も使用(主に備品の搬出搬入等)していました。一部の団体では、事務室の使用頻度が低い団体も見られました。

(2) コロナ禍に伴う活動内容の変化

- ・事務作業が中心のため、事務室内での活動においては、ほとんどの団体で活動に大きな変化はありませんでした。
- ・団体の活動自体をみると、外出抑制によるイベント等の減少に伴い、地域活動を中心に活動が大幅に減少した団体が複数ありました。
- ・コロナ禍のピークが過ぎた現在においては、ほとんどの団体は昨年度以降から徐々にコロナ前と同様の活動を再開している状況でした。

(3) 今後の長期的な活動方針

- ・多くの団体は概ね現状の活動を維持・継続する方針でした。
- ・公益事業を行う団体については、行政施策の影響を受ける側面（補助金の関係等）があり、府中市の施策等と連携し業務拡充に向けた人員補強を検討している団体もありました。

(4) 今後の活動スペースの意向

- ・施設の立地について、現位置である必要性はなく、アクセス性の良さとともに駐車場及び駐輪場の設置が重要視されていました。
- ・基本的には現状程度の面積を求める声が多い状況です。
- ・利便性の観点から他団体との隣接性を求める団体も見られました。
- ・ほとんどの団体は貸会議室を利用しており、入居する施設内に会議室は必要という意見が複数ありました。
- ・倉庫機能や大規模な会議室機能、個人のプライバシーに配慮した室（相談室等）の確保などを求めている団体もありました。
- ・柔軟に活動スペースを変更できるようにフレキシブルな間仕切りを求めている団体が複数ありました。
- ・会議や打合せ等のオンライン化に伴い、Wi-Fi等の通信環境に対するニーズがありました。

(5) その他

- ・建替え時の一時的な入居先については、市による支援（金銭の補助・場所の確保）を望む声がありました。

参考 団体の詳細

団体名		市との関連				使用料の根拠
		出 資	補 助 金	委 託	指定管理	
法人	(公財) 府中市勤労者福祉振興公社	○	○	○		府中市振興会館条例
	(公社) 府中市シルバー人材センター		○	○		府中市立ふれあい会館条例
	(一社) 武蔵府中法人会					府中市振興会館条例
	(一社) 府中市薬剤師会			○		府中市行政財産使用料条例
	(福) 府中市社会福祉協議会		○	○	○	府中市立ふれあい会館条例
	(特非) 府中市国際友好交流会			○		府中市振興会館条例
団体	府中市自治会連合会					府中市振興会館条例
	府中スカウト育成協議会					府中市振興会館条例
	多摩川漁業協同組合					府中市振興会館条例
	府中市交通安全協会		○			府中市振興会館条例